

# 😊絵本読み聞かせ通信😊

【赤ちゃんから幼児向け】

♣保護者の皆様へ♣

第6号（令和6年12月発行）芦別市立図書館

## ♣読書習慣を身につけましょう♣

本は好きですか？雑誌は気軽に読めるけれど、本はちょっとと感じる人も多いようです。作家や本好きな人の多くは、家の中に本がたくさんあったと話しています。子どものころから身近に本があることで、自然と本を読む習慣ができます。

子どもの成長に合わせた本をそろえるのは大変ですが、図書館には人気本や話題になっている本、様々なジャンルの本や名作もそろっています。新聞や雑誌で紹介している本に興味があったら、図書館を利用してみてはいかがでしょうか。図書館には、本を貸したり借りたりする協力関係があるので、古くて出版されていない本でも、取寄せて読むことができます。読みたいと思った時、すぐに手に取れると本を読むのが楽しくなります。

## 「本は子どもに合わせて読みましょう！」

### ★読んであげる楽しみ★

子どもは、本を読んでもらうのが大好きです。言葉がわからなくても、絵本を見せてあげると、笑顔になります。読む時は、ゆっくりとやさしい声で読んでください。

絵を指さして、本に描かれている動物や物の名前を教えてあげるのも、読み聞かせです。子どもが興味を示したら、ゆっくりとそのページを見せてあげてください。子どもが喜ぶと、一緒に本を見るのが楽しくなりますよ。

### ★読み方のポイント★

絵本を読む時は、登場人物に合わせたスピードで読んでみてください。走ってるような場面なら少し早く読み、おじさんの言葉はゆっくり読むなど少し工夫すると楽しさが増します。感情移入しないで読んだ方が、子どもの想像力を育てることができます。



### ★絵を楽しみましょう★

赤ちゃんは文字が読めないので、絵を見えています。絵本を読む時は、子どもになったつもりで絵を見てください。絵の中には色々なことが表現されています。何度も読んで欲しい本には、特別な何かがあるのかもしれない。じっと見ていると、気が付かなかった物が見えてきて本の楽しさに気づくことがあります。

### ★絵本のことば★

絵本には、とてもやさしい言葉が使われています。本の内容に合わせて、短い言葉で端的に表現されていますので、そのまま読むのがおすすめです。

子どもに分かる言葉を使っていて、リズムカルで楽しく読むことができます。

おかあさん



「あーんあーん」

作・絵：せな けいこ  
出版社：福音館書店

みんなえがお



「なでなでにっこり！」

作・絵：新井 洋行  
出版社：童心社

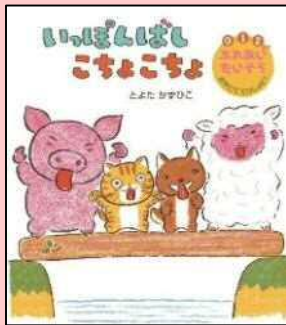
うたってみよう



「さよならさんかく」

作：森比左志・わだよしおみ  
絵：わかやま けん  
出版社：こぐま社

つぎはだーれ？



「いっぽんばしこちよこちよ」

作・絵：とよた かずひこ  
出版社：世界文化社

どんなくるまかな



「のつてのつて」

作・絵：くろい けん  
出版社：あかね書房

まま だいすき



「にこにこぎゅつ」

作・絵：ひだの かな代  
出版社：中西出版

生活の中でおぼえる言葉

朝起きてから寝るまで、たくさんの挨拶があります。赤ちゃんに、毎日言葉かけをしていると、だんだんと覚えて、まねをしたり、動作をするようになります。

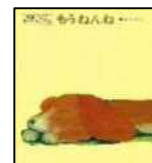
朝起きたら「おはよう」、ご飯を食べるときは「いただきます」、名前を呼ばれたら「はい」…。少しずつ覚えて、その場にあった挨拶ができるようになります。挨拶している姿はとっても

かわいいですね。赤ちゃん絵本には、実体験できることをテーマにした本があります。絵本を使って、たくさんお話ししましょう！



あいさつのことば絵本

- あいさつ (いもと ようこ)
- いただきます ごちそうさま (たけうち ちひろ)
- そらめめくん こんにちは (なかや みわ)
- ばいばい いってきまーす (みやにし たつや)
- もうねんね (作：松谷みよこ/絵：瀬川康男)
- おつきさま こんばんは (林 明子)



ながーい



「どこがながいか  
わかる？」

作・絵：みやにし たつや  
出版社：金の星社

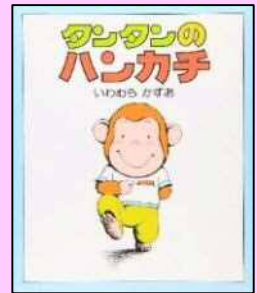
おいしそう



「ぐりとぐら」

作：中川 李枝子  
絵：大村 百合子  
出版社：福音館書店

ふしぎなハンカチ



「タンタンのハンカチ」

作・絵：いわむら かずお  
出版社：偕成社

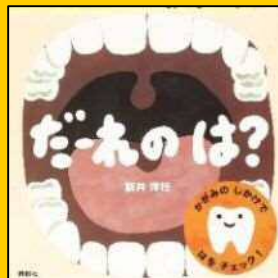
なにをはなしてるの？



「ないしょないしょ」

作・絵：かさい まり  
出版社：アリス館

はみがきしよう！



「だーれのは？」

作・絵：新井 洋行  
出版社：講談社

ねむらないもん



「おやすみなさいコッコさん」

作・絵：片山 健  
出版社：福音館書店

なんでも食べよう！

絵本の中のお料理は本当においしそう。手をのばして食べるまねをしたり、食べたいと言ったらチャンスです。苦手な食べ物も絵本を読んで好きになることもあります。「美味しそうだね。どれが好き？」お話ししながら読むと、とっても楽しい。

興味を持とう

色々なことに興味を持つ子は、活発な子が多いようです。子どもの好きなことを一緒にすると、興味の幅が広がります。食べ物の本を読んで、子どもと一緒に料理してみませんか？小さな子にもできる料理の本が色々あります。一緒に作ると、いつもよりたくさん食べてくれますよ。

たべものの本

- へんしんへんしん フルーツポンチ (山本 祐司)
- きょうのおべんとう なんだろうな (作:きしだ えりこ/絵:やまわき ゆりこ)
- たまごやきくん (村上 康成)
- しょくぱんちゃん6しまい (ささき みお)
- おにぎり (作:平山 英三/絵:平山 和子)
- おべんとう (小西 英子)
- サンドイッチいただきます (岡村 志満子)

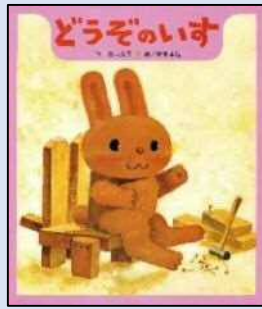


がんばって!



「ゆうかなアイリーン」  
作・絵：ウィリアム・スタイグ  
出版社：セーラー出版

やさしいっぱい



「どうぞのいす」  
作：香山 美子  
絵：柿本 幸造  
出版社：ひさかたチャイルド

こんどはだあれ?



「とんとんとめてくださいな」  
作：こいで たん  
絵：こいで やすこ  
出版社：福音館書店

こまったぞ



「コップをわったねずみくん」  
作：なかえ よしを  
絵：上野 紀子  
出版社：ポプラ社

ゆきであそぼう



「わんぱくだんのゆきまつり」  
作：ゆきの ゆみこ・上野 与志  
絵：末崎 茂樹  
出版社：ひさかたチャイルド

クイズだよ



「あてっこどうぶつずかん だれ」  
作・絵：あべ 弘士  
出版社：KADOKAWA

絵本の世界を体験

お話を楽しめるようになると、本を読むことで色々な体験をしたような気持ちになります。楽しい遊びをしたり、おいしいものを食べたり…。どんな体験も心を育てる栄養になります。

本で物知りになろう!

子どもの「なぜ?」という質問に対して、わかるように説明するのは、けっこうたいへんです。説明が難しい場合は、子どもといっしょに本を読んでみませんか。絵と文で、とてもわかりやすく教えてくれます。「お正月を知る本」では色々な事が分かります。お節に入っている食材も意味がわかるとより美味しく感じられます。

お正月を知る本

- 十二支のはじまり (作:岩崎京子 絵:二俣英五郎)
- 20ぴきのおしょうがつ (作・絵:たしろちさと)
- お正月がやってくる (作・絵:秋山とも子)
- かさじぞう (作:広松由季子 絵:松成真理子)
- あけましておめでとう (作:中川ひろたか 絵:村上康成)
- おせちのおしょうがつ (作:ねぎしれいこ 絵:吉田朋子)

